

経 済 建 設 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成30年12月17日（月）
午前11時12分 開会 午前11時48分 休憩
午後0時58分 再開 午後2時08分 閉会
2. 場 所 第4委員会室
3. 出席委員 高野哲郎委員長、浅村起嘉副委員長、井田秀喜委員、二木攻委員、
橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員
4. 欠席委員 なし
5. 委員会の議題
＜都市創造部＞
【まちデザイン課】
議案第91号 指定管理者の指定について中関係部分
＜報告事項＞
 - ・市営駅南駐車場について【緑花公園センター】
議案第91号 指定管理者の指定について中関係部分
【建築住宅課】
議案第85号 小松市開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例について
議案第86号 小松市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例について

＜産業未来部＞
【農林水産課】
議案第91号 指定管理者の指定について中関係部分
【エコロジー推進課】
＜報告事項＞
 - ・家庭ごみ夜間収集から日中収集への変更について
 - ・「こまつの恵みに感謝！食べきり運動」の協力店募集について【商工労働課】
議案第91号 指定管理者の指定について中関係部分
＜報告事項＞
 - ・企業立地の状況について
 - ・最近の雇用・労働情勢について
＜にぎわい交流部＞
【観光文化課】
＜報告事項＞

- ・イメージキャラクターPR活動並びに歌舞伎のまち小松 春の巻PRについて
- ・ふるさとパンフレット大賞「優秀賞」受賞について

【埋蔵文化財センター】

<報告事項>

- ・下半期の取り組み状況及び今後の企画について

【スポーツ育成課】

議案第91号 指定管理者の指定について中関係部分

6. 委員長報告の要旨

■小松市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例について

空き家等が管理不全な状態により、人の生命、財産等に重大な被害を与える等の危険が切迫している状態に対し、危険を回避するための措置を講ずることができる旨を明文化するものであり、その行った措置に要した費用についても、所有者から徴収することができるようにするものであります。今後は、いわゆる危険空き家等の措置について、条例、建築基準法、災害対策基本法等の関係法令等に基づき適切な対応を期待するものであります。

■指定管理者の指定について

ふれあい健康広場について、指定管理者の指定期間が平成30年度末で満了となるため、選定会や応募者によるプレゼンテーション等を行った結果、平成31年4月1日からの5年間、引き続き、北森・岸共同企業体を指定管理者として指定するものであります。指定管理の導入により、施設利用者は増えたとのことでありますが、ゴルフ場の利用者が増加している一方、キャンプ場やバーベキュー場は減少しているとのことであります。指定管理により行政の直接の手は離れておりますが、アイデアを出してより進化していく施設となるよう求めました。

また、こまつドームについても、指定管理者の指定期間が平成30年度末で満了となります。平成18年の指定管理者導入当初から携わり、利用者からも信頼を得ている公益財団法人小松市まちづくり市民財団を平成31年4月1日から5年間、引き続き指定管理者として指定するものであります。こまつドームは各種大会や様々なイベントなど、多くの人を利用する施設であります。総合的、効率的な運営により市民が快適に利用できるよう、また、施設の老朽化に伴い計画的な改修計画・財源確保に努め、施設環境の整備・充実を行なうよう求めたものであります。

■家庭ごみ夜間収集から日中収集への変更について

稚松・芦城校下のうち家庭ごみの夜間収集をしている46町内を対象に、安全なごみ出し・ごみ収集、生活スタイルの変化を考慮し、夜間収集から日中収集へと変更するものであります。明るい時間帯での安全なごみ出しや共働き世帯も無理なくごみ出しができるなど、ごみ出しの利便性向上が期待できるものであります。来年10月の開始に向け、2月から関係町内会長へ収集方法の変更についての説明を始めるとのことでありますが、変更となる町内会の要望をしっかりと聴き、丁寧な対応に努めるよう求めました。

■イメージキャラクターPR活動並びに歌舞伎のまち小松 春の巻PRについて及び、ふるさとパンフレット大賞「優秀賞」受賞について

次年度の日本こども歌舞伎まつり及びお旅まつりの首都圏PRのため、歌舞伎座等において、カブッキーによる情報発信などを実施するとのことであります。また、小松市が作成したパンフレット「こまつまなび～こまつの文化にふれて～」がそのデザイン性を高く評価され、(一財)地域活性化センターの「ふるさとパンフレット大賞」において「優秀賞」を受賞したとのことであります。

素晴らしいパンフレットをいかに有効活用するか、また、カブッキーが歌舞伎座でPRするだけでなく、SNSにおけるPR活動の拡散など、様々な発信の仕方を工夫するようとの意見が出されました。